

「令和5年度全国学力・学習状況調査」結果の概要について

令和5年10月6日

丹波市立西小学校

校長 梅垣 泰三

見出しのことにつきまして、お知らせします。

本調査は、学校の授業や子ども達への指導をより良くするための調査です。

よって、調査の結果は、学力の特定の一部であり、児童の学力の全てを示すものではありません。

本校では、調査結果を元に、児童一人一人が、自ら考えて行動できる力が育つよう、引き続き、よりよい授業づくり、学校づくりに努めていきます。

Ⅰ 調査の結果と今後の対応

(1) 国語

全国平均とほぼ同じでした。1つの資料から自分の考えを持ち、書くことができています。一方で、複数の資料を関連付け、条件に沿って書くことには課題が見られました。また、「全体」「部分」「結果」などの用語の理解が十分でなく、問題に苦戦したことがわかりました。

➡授業の中で簡単な言葉を使わず、学年に応じた学習用語を使い、用語の理解を図ります。また、自分の考えを持ち、書く機会をより多く設けます。

(2) 算数

全国平均とほぼ同じでした。問題文からの立式や、式の意味の理解はよくできています。しかし、図形の性質や定義、わり算の筆算など概念の意味理解が十分ではないことがわかりました。

また、複数の情報を比較して必要な情報を見つけ出すことに課題が見られました。

➡各単元において学ぶ概念等を丁寧に指導し、基礎基本の徹底を行います。

また、計算に限らず、情報を整理しながら問題を解く機会も作っていきます。

(3) 質問紙

「学校で、自分のよさを先生に認められている」「困りごとを相談できる大人がいる」と回答した児童の割合は、全国平均をやや下回りました。一方、自己肯定感を問う質問では、「自分には良いところがある」「将来の夢や目標がある」など、全国平均を10pts以上も上回る質問が10項目以上もありました。これらのことから、子ども達が、家庭や地域など、学校外でも自分の居場所を持ち、安心して生活できる機会があることがわかりました。

➡「自分と違う意見について考える」ことが楽しいと感じられる活動を増やし、子ども達が「できた」「わかった」「わかるまで先生と勉強できた」と実感できるような授業改善に努めます。